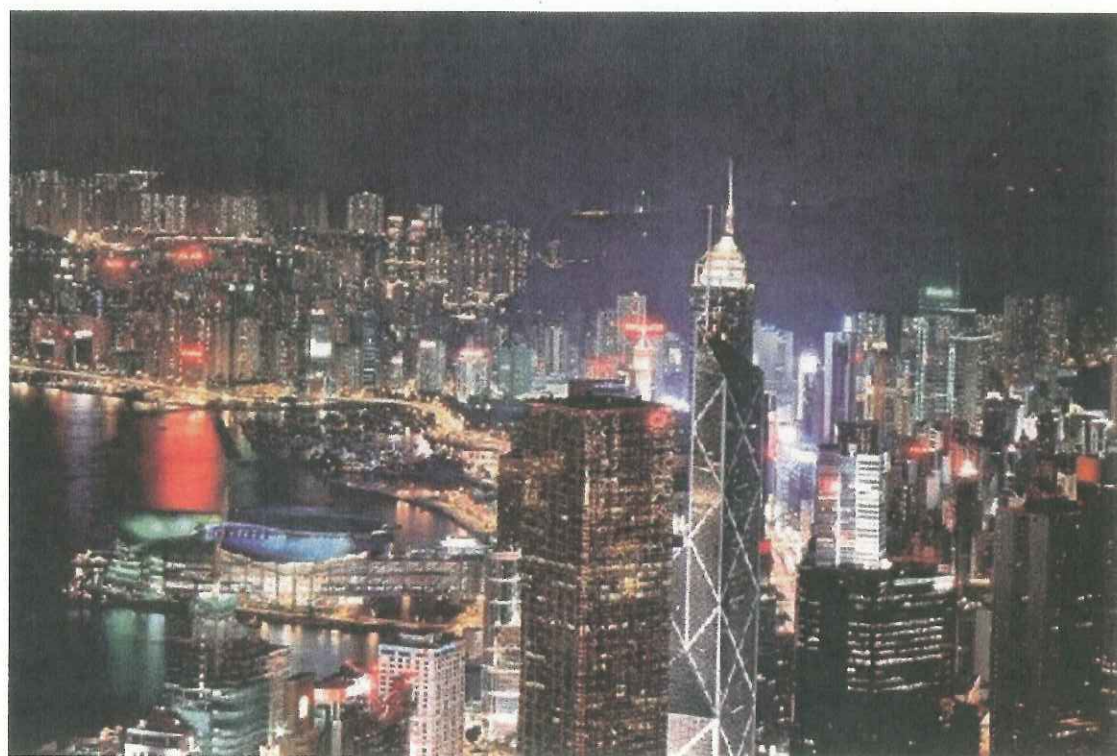


石川県議会派遣  
香港・マカオ訪問団  
報告書



平成 23 年 10 月  
石川 県 議 会

# 目 次

	ページ
1 香港・マカオ訪問の概要.....	1
2 香港・マカオ訪問団員名簿.....	2
3 日 程.....	3
4 訪問記録.....	4

石川県議会派遣  
香港・マカオ訪問の概要

1 目的

小松空港の更なる国際化に向けた取組を進めるため、小松空港国際化推進石川県議会議員連盟と合同で、香港及びマカオの航空会社、旅行会社等を訪問し、小松・香港間の就航促進を図る。

2 訪問のあらまし

(1) 訪問期間

平成23年10月9日(日)～12日(水)

3泊4日 (小松空港発着、マカオ航空チャーター機利用)

(2) 訪問団員数

5名 (ほかに、小松空港国際化推進石川県議会議員連盟として  
福村団長以下13名)

(3) 訪問先

〈香港〉

キャセイパシフィック航空、EGLツアーズ

〈マカオ〉

マカオ航空、インバウンド・チャーター旅行会社

小松空港国際化推進石川県議会議員連盟及び石川県議会派遣  
香港・マカオ訪問団 名簿

団 長	石川県議会議員(小松空港国際化推進石川県議会議員連盟会長)	ふくむら 福村	あきら 章
副団長	石川県議会議員	きたむら 北村	しげもり 繁盛
団 員	石川県議会議員	よねみつ 米光	まさし 正次
団 員	石川県議会議員	よしだ 吉田	おさむ 修
団 員	石川県議会議員	しんたに 新谷	ひろのり 博範
団 員	小松市議会議員	はいだ 灰田	まさのり 昌典
団 員	小松市議会議員	ひだ 飛騨	きょうえい 共栄
団 員	小松市議会議員	みやかわ 宮川	よしお 吉男
団 員	小松市議会議員	で と 出戸	きよかつ 清克
団 員	小松市議会議員	かたやま 片山	しゅんじろう 瞬次郎
団 員	小松市議会議員	よしむら 吉村	のりあき 範明
団 員	小松市議会議員	い だ 井田	ひでき 秀喜
団 員	加賀市議会議員	なかや 中谷	よしひで 喜英
団 員	加賀市議会議員	いながき 稲垣	しんや 清也
団 員	能美市議会副議長	きたの 北野	さとる 哲
団 員	能美市議会議員	あおやま 青山	としあき 利明
団 員	小松商工会議所副会頭	えぐち 江口	すけいち 介一
秘書長	石川県議会議員	い で 井出	としあき 敏朗
	同行記者(北國新聞)	やすだ 安田	よしふみ 佳史
	通 訳		マンディー・ホー(現地合流)
事務局	石川県参事兼企画振興部次長	ほりおか 堀岡	しゅうじ 修次
	石川県議会事務局企画調査課長	みちばた 道端	まさあき 正明
	石川県観光交流局交流政策課参事	きじま 木島	ひろし 浩
	石川県観光交流局交流政策課専門員	こばやし 小林	ま み こ 満美子
	石川県企画振興部空港企画課主任企画員	のざき 野崎	ともひろ 智広

計 25名

香港・マカオ訪問団日程

【香港・マカオ】

月 日	時間	日 程	備 考
10月9日 (日)	14:00	小松空港集合	
	14:10	結団式 小松空港2F「小松」	
	15:45	小松空港発(NX9801)	
	19:05	マカオ国際空港着	
		夕食	
			【香港泊】(ホテル日航香港)
10月10日 (月)	9:30	ホテル発	
	11:30	キャセイパシフィック航空訪問	
		(別行程有り)	
	13:00	昼食	
	14:00	「石川食文化フェアイン香港」視察	
	16:00	EGLツアーズ訪問	
	18:30	EGLツアーズとの夕食交流会	
			【香港泊】(ホテル日航香港)
10月11日 (火)	8:15	ホテル発	
	9:15	香港発(高速船)	
	10:15	マカオ着	
	11:00	マカオ航空、 インバウンド・チャーター旅行会社訪問	398 Alameda Dr. Carlos D' Assumpcao, Edif.CAAC, 13-18 Andar, Macau
	午後	昼食	
	14:00	マカオ世界遺産等視察	
		夕食	
			【マカオ泊】(リオホテル)
10月12日 (水)	8:15	ホテル発	
	10:35	マカオ国際空港発	
	15:30	小松空港着	

NX：マカオ航空

平成23年10月9日(日)

結団式 (北陸エアターミナルビル(株) 2F 「小松」の間)

出発に際し、小松空港国際化推進石川県議会議員連盟会長であり、今回の団長を務める福村県議から、香港・マカオの航空会社、旅行会社等を訪問し、小松・香港間の就航促進を図る、などの挨拶を行った。



平成23年10月10日(月)

## 1 キャセイパシフィック航空本社

(時間) 11:30~12:00

(相手方) マーク・サッチ 営業・収益担当マネージャー

(韓国・日本、インド、中東担当)

レスリー・ルウ 運航機材管理マネージャー

(内容)

### ◎福村団長

- ・これで、一昨年、昨年、今年と3回続けて御社にお邪魔をした。3回目なので、あまり細かいことは申しあげないが、小松空港は日本海側最大の空港であり、200万人をはるかに超えるお客様が利用する。日本国内はもちろん、東京をはじめ日本の各地域に小松空港から飛行機が飛んでいる。海外の定期便は、ソウル、上海、台北便がある。貨物便については、ルクセンブルクに飛んでおり、そして今年の10月からは北米にも飛ばすことになった。全国では7番目の貨物量である。
- ・小松空港は不思議な空港で、定期便が就航した際は上海も、ソウルも、台北も、果たしてお客さんがいるのかな、と大変心配されるが、やってみると日本海側で一つしかないため、非常にたくさんのお客さんが乗ってくれる。台北もこの間週2便から4便に増便された。3年前から就航したが、70%を超える搭乗率となっている。北陸エリアの人口は約350万人だが、以外にも沢山のお客さんが乗ってくる空港である。
- ・3年後には、東京と石川県は新幹線で結ばれることになる。そうなると、最も利用者が多い羽田便が減るであろうと考えている。それを補完するためには、海外の定期便を増やすことが肝要であると思っている。上海、ソウル、台北の次のターゲットは香港で、その次はタイという目標を持って、一生懸命頑張っているところである。
- ・一昨年、ここに訪問したときに、EGLの袁社長とも話をし、まずはチャーター便の実績を積もうという話になった。それで、昨年初めて双方向のチャーター便を実施した。更にもっと発展させようということで、今年は双方向を2便実施する。今年はたまたまマカオ航空で、総勢180人でこちらに来た。こちらからも多くの方々が乗っていただいている。今年度は2便という約束なので、来年の2月頃にもう一便飛ばしたいと思っている。その他にも、御社の子会社であるドラゴン航空もチャーター便をやってくれており、小松空港はかなりチャーター便の就航も多い。
- ・香港との定期便がまだ開設されていないが、10年前は香港から石川県へのお客さんがたったの1,500人だったのが、昨年は1万4千人と約10倍に増え、これは関空を利用してくるのか、中部空港を利用するのか分からないが、1万4千人というのは、非常に多くのお客さんであり、定期便が就航するとおそらく倍に増えるのではないかと。こちらからも多くの利用者が香港へ行くことになるのではないかと。
- ・ソウル便を参考にすると、これぐらいの人数がいれば週2便の定期便も支障ないと思っており、チャーター便はもちろん、とにかく早く定期便をお願いしたい。
- ・マークマネージャーには昨年も確かお会いをさせていただいていることであり、こ

れ以上細かいことは申し上げない。とにかく論より証拠、百聞は一見にしかず、という言葉がある。是非マネージャーをはじめ皆様に石川県に来ていただきたい。石川県には日本を代表する金沢という街があり、兼六園や、風光明媚な白山という日本三名山の一つである雪が素晴らしい山がある。ゴルフもできる。輪島塗、九谷焼、山中塗、金箔など日本を代表する伝統工芸があり、これは京都と並ぶものである。温泉も豊富であり、ぜひ皆さま石川県にいらっしゃるよう心からご招待を申し上げます。今日は石川県議会議員、空港のある小松市の議員、加賀市、能美市の議員が揃って訪問させていただいている。また、小松の経済界を代表して小松商工会議所の副会頭が来ている。この熱意をぜひ汲み取っていただいて、早く定期便を開設していただくよう力添えをいただきたい。

◎サッチマネージャー

- ・まず、本日は皆様お会いできてうれしく思っている。日本から香港、そしてキャセイパシフィック航空によるこそお越しいただいた。ご存知のとおり、過去にも小松空港にはドラゴン航空によりチャーター便を運航しており、これからも機会があればチャーター便を運航し続けたいと考えている。
- ・私は日本担当であるが、今年は3月に起きた大震災が原因で、困難な年となっている。しかし、震災が起きた後でも、キャセイパシフィック航空としては運航を続けていきたいと考えており、幸いなことに10月末は震災前のプログラムに戻っている。
- ・日本から香港に来る利用者の数は依然堅調なままだが、この半年間で香港から日本へ行く利用者は劇的に減っている。キャセイパシフィック航空として全力でプロモーション活動を行っているところであり、時間がかかっているが、年末から来年にかけて旅客数が増えるのではと考えている。
- ・香港の人々は牧歌的なものや美味しいものに興味を持っており、石川県は香港の人々にとって素晴らしい観光地であるようなので、これからも石川県のPRをしていきたいと考えている。もし機会があれば便の運航も考えている。毎年皆様とお会いできてうれしい。これからも毎年来ていただきたい。心から歓迎申し上げます。

【懇談】

◎福村団長

- ・石川県は日本の中で最も震災が少ないところである。冬は、雪はたくさん降るが、小松空港の就航率は99.5%であり、ほとんど欠航のない空港である。今申し上げたように一つには地震がない、洪水や台風などの災害がほとんどない。先の台風により成田空港や関西空港が閉鎖しても小松にだけは就航できる。自衛隊と併用空港であり、レーダー、除雪など万全の態勢を取っている。このような安全な空港をひとつ持つことはキャセイパシフィックにとっても大変重要であると思っている。札幌、成田、大阪、中部、福岡と路線を持っていらっしゃるが、日本海側の真ん中の小松空港にも拠点を是非持っていただきたい。定期チャーターからでもいいと思うし、定期便へ持っていくお考えを早急に詰めていただきたい。

◎サッチマネージャー

- ・小松空港における貨物便に関してもう少し情報をいただけるか。

◎堀岡参事

- ・現在、小松空港には、ルクセンブルクから貨物便が週4便就航している。うち、一



便は香港経由で小松、そしてシカゴ、ニューヨークに運航されている。航空会社はカーゴルックス航空である。カーゴルックス航空は日本では小松空港だけに就航している。

◎サッチマネージャー

・輸出・輸入貨物の種類は。

◎堀岡参事

・輸出は電子機器類が多い。輸入は自動車などの大型機器や、薬品、チョコレートなどがある。

◎ルウマネージャー

・小松空港ではB747-8のような最新鋭の最も大きな機材が就航できるキャパビリティはあるのか？

◎堀岡参事

・小松空港には、現在747-400Fが就航している。-8は、現在カーゴルックス航空が導入を進めているが、まだ小松路線には就航していない。

◎福村団長

・貨物の取扱量は全国で7番目である。

◎堀岡参事

・セールスポイントは、駐機場から上屋まで100mしかないこと、早くハンドリングができることである。したがって、デリケートな商品、温度管理が必要な商品については、成田よりも丁寧に取り扱っており、商品ダメージは少ない。

◎福村団長

・日本列島の真ん中であるため、大都市圏までの国内の運送費が非常に安い。

◎サッチマネージャー

・冒頭の説明で、約1万4千人の観光客が香港から石川県へ訪れているが、どのようなルートで石川県に来られるのか？

◎福村団長

・おそらく、関西空港もしくはセントレアを利用してくるものと思われる。

◎サッチマネージャー

・キャセイパシフィックとしては、常に新たなルートを検討している。チャーター便の運航については、大きな旅行会社からのリクエストがあつてからの相談になる。私は、明日には東京に行く予定としているが、小松空港について相談するつもりである。

◎福村団長

・是非、石川県と小松空港を見ていただきたい。すぐに良さが分かると思う。

◎灰田小松市議会議員

・先ほどから福村団長の方から、日本海側の空の玄関である小松空港の素晴らしさを説明してもらったが、小松空港周辺には温泉やゴルフ場があり、かなり割安でプレイできる。良質な温泉に泊まっていだいて、ゴルフを楽しんでいただく。食べ物も海の幸、山の幸と大変すばらしいものがいっぱいあるので、ゆっくりと連泊しながら、北陸周辺を楽しんでいただければと考えている。

・能美市では3年ほど前に、大リーグでMVPをとった現在アスレチックにいる松井という野球選手がいるが、すばらしい資料館もあるのでぜひ来ていただきたい。

◎サッチマネージャー

- ・ここ（パンフレット）には、恐竜博物館も記載されてある。
- ・小松といえば、世界中を旅行していて、工作機械である「コマツ」とロゴがある非常に素晴らしいブランドをよく目にする。

◎福村団長

- ・とにかく、次の日本の定期便を入れるなら小松ということのを頭にいれておいていただきたい。

◎サッチマネージャー

- ・今後とも、頑張っていきたい。これから、香港の旅行会社に回られると思うが、有用な情報があったら教えて欲しい。

◎新谷議員

- ・条件提示がないと、何か必要なインセンティブがあれば教えて欲しい。  
富山空港で行っている、大連経由で北京に運航しているように、小松→福岡→香港など、福岡から延伸して運航することができないのか。

◎サッチマネージャー

- ・ルートが伸ばせるか、どうかは何とも言えない。

◎新谷議員

- ・明確なインセンティブや条件提示がないと、行政は動けないので、日本に来られるときに具体的に提示していただけるとありがたい。

◎サッチマネージャー

- ・了解した。



## 2 香港市内コンベンション施設訪問

(時 間) 10:00~11:00

(相手方) 羅 敏儀営業マネージャー

(内 容) 「九龍湾國際展貿中心」を訪問し、コンベンション施設の概要等の説明。

- 全体で8,000㎡あり、物産展、国際会議、コンサート及びスポーツイベントなどが開催できる多機能施設である。日本人のアーティストのコンサートもよく実施されている。
- 香港市内にある3つのコンベンション施設のうち、唯一の民間資本であり、色々な工夫をしながら、何とか採算ベースに乗せることが可能となっている。
- 円形大広間は3会場あり、最大1,600人収容でき、会議や宴会など色々なイベントに対応が可能である。レンタル料は1日あたりで約60万円~100万円である。
- また、シアター形式の会場でも、学術会議などがよく開催される。
- スターホールではアリーナ形態であり、大規模なコンサートやスポーツイベント(テニスやバスケットボールなど)が開催されている。レンタル料は1日あたりで約100万円~130万円程度である。
- 結婚式場も併設しており、多くの利用者がある。



### 3 香港市内旅行会社訪問

(時 間) 11:15～12:20

(相手方) 山本JTB香港支社アウトバウンド担当部長

(内 容) 香港における訪日旅行の現状説明

- ・香港からの訪日外客数は、2011年1～8月までで、昨年同期比の約40%の減となっており、厳しい状況であったが最近は回復傾向にある。ただし、急激な円高傾向により、不透明感が強い。韓国、台湾及び中国に次いで第4位の外客数となっている。
- ・香港の人々の旅行先としては、1位が中国であり、2位がマカオで3位が日本、台湾、タイの三つ巴状況となっている。
- ・訪日旅行目的は圧倒的に観光目的が多い。また、団体旅行より、個人旅行の比率が圧倒的に大きい。
- ・香港の人々の訪日回数を見ると、2回以上が多く、5日以上滞在している割合が比較的大きい。
- ・香港の人々は、1に食事、2にショッピング、3に自然や温泉といった目的で観光する。食事については、和食が好まれており、海鮮料理や和牛、フルーツ(リンゴ、なし、桃)に人気がある。自然は、香港にはないことから、強力なアピールポイントである。
- ・香港の人々は、せっかちで移動時間が長いのは嫌いである。ショッピングについても、大手家電量販店で電化製品を購入したり、化粧品が人気である。また、日本のコンビニエンスストアが大好きで、ホテル・旅館の近くにないとクレームがつく。
- ・石川県には食や自然、温泉など香港の人々が求める要素がすべてある。もっとアピールし、認知度を高めるべきである。メディアやブログ、フェイスブックを有効に活用するべきである。



#### 4 石川食文化フェア in 香港視察

(時 間) 14:30~15:30

(内 容) 香港市内のデパートで、石川食文化フェア実行委員会（事務局：小松商工会議所）が実施する石川県の食をPRする物産展が開催されていることから、その状況を視察

(参加店舗) 株式会社宮商（海産加工品）、薄井青果株式会社（農産物）、  
合資会社東栄松商店（酒類）、有限会社加賀かきもち丸山（菓子）  
高澤醸造株式会社（農産加工品）



以上

## 5 EGLツアーズ本社

(時 間) 16:00~17:00  
(相手方) 袁 文英 董事総経理  
梁 成釗 執行董事  
末廣 景子 日本営業担当  
麥 凱南 日本個人旅行担当

### (内 容)

#### ◎福村団長

- ・今日も大変お忙しいところ、お出迎えいただき感謝する。長年観光行政に力を入れられ、功績があったということで、観光庁長官賞を表彰されたということ、EGLツアーズについても創立25周年ということで、ご発展を心からお喜び申し上げたい。なお、3月11日に東北で大震災があり、現在復興に努めているが、このことに対しても大変なご支援を頂戴している。日本国民を代表して心から御礼申し上げる。
- ・将来的には、香港と小松の定期便を開設したいと考えており、そのためにはチャーター便の実績を積み上げていきたい。昨年の双方向チャーターと今年複数便の双方向チャーターということで、もう一便を来年の2月頃にやらせていただく。
- ・今日はキャセイパシフィック航空に訪問し、真剣に聞いていただいて、特に貨物に興味を持っていただいた。本日は、小松市・加賀市・能美市の市議会議員と、経済界からも小松商工会議所からも訪問団にご参加いただいた。香港の定期便を開設するにあたっては、袁さんの力にかかっている。ぜひ一つご協力をいただきたい。まだ、石川県に来られるという約束が守られていない。今年はぜひ石川県にご招待申しあげたい。

#### ◎袁董事総経理

- ・香港にいらっしゃって心から感謝を申し上げる。皆様と平成21年11月24日に最初にお会いした。今年は、EGLツアーズのマカオ支店では82名を集客し小松空港に行かせていただいた。香港では東日本大震災については、特段問題になっていない。一番話題になっているのは為替である。袁という名前を変えてドルかユーロという名前に変えようと思っっているくらいである。日本ではなく台湾や韓国に行く傾向が強くなっている。高い為替で日本に渡っても買い物が楽しくない。逆に日本の方々が香港に旅行される際は、日本円1万円が1,000ドルの価値となり、約25%上がった。
- ・しかし、皆様方の日本は大変愛好されている。また、このような為替でも旅行されるマカオのお客様に感謝している。やはり、日本という国は素晴らしい国で、香港の人々は観光資源、美味しい食べ物を求めている。先日3泊4日の1人あたり26万円の沖縄ツアーを販売し、完売した。石川県に視察するというお約束を2年前させていただいたが、JCBという会社の30周年記念で招待され、能登、加賀屋で一泊する予定である。EGLツアーズは、皆様のおかげで、11月5日で25周年迎える。東日本大震災では、副社長と一緒に東北へ赴き、直接3つの県に対し寄付をさせていただいた。弊社は日本がないと今日はない。この大震災により日本は改めて世界から尊敬を受けている。他の国では必ず起こる略奪がまったくない。素晴

らしい文化・伝統を永遠に守り続けてほしい。

(双方向チャーター便が2月に実施予定であるとのことから、別添パワーポイント資料に基づき、「冬の北陸モデルコース」の説明を行う)

#### 【懇談】

##### ◎小松商工会議所江口副会頭

- ・ 県が空港を活用してビジネスを展開するというので、小松商工会議所では毎年色々なところで物産展をやっているが、今年は香港のそごうデパートの地下2階で5日間実施している。日本酒の高いものから売れているということを聞いている。梨1000円があつという間に売れてしまう。石川県の特産のルビーロマンが一房3万円で売っている。本来石川県の売りである生鮮の魚を入れたかったが、東日本大震災により当局に止められた。

##### ◎袁董事総経理

- ・ そごうは香港の1番繁華街の場所であり、さすがに3万円のブドウはなかなか買えないが、1,000円の梨を買う客層は多い。香港は、台湾や中国と違い、果物は輸入できる。今日本の食べ物では果物が一番売れる。その次は松坂牛、神戸牛や飛騨牛といった牛肉が売れる。日本の商品は高いから買わないというわけではなく、高いからこそ売れる。香港には、中国の観光客も入ってくるので、日本の食品は皆喜んで買って帰るので、積極的なPRをお願いしたい。

##### ◎福村団長

- ・ 石川県では能登牛は美味だが量が少ない。牛肉は持ってこれるか。

##### ◎袁董事総経理

- ・ 生肉は検疫にひっかかる。魚や果物は問題ない。  
香港ではタラバガニが有名なので、ズワイガニなどは是非PRの強化をお願いしたい。上海蟹が旬だがどれが本物かさっぱり分からないので敬遠されることが多い。今のところ小松には直行便はないため、石川県に旅行する場合は、現在中部イン中部アウトとなっている。

##### ◎福村団長

- ・ おかげさまで、10年前は香港からの兼六園に訪れる旅行者は1500人にすぎなかったのが、昨年は1万4千人と10倍になった。これはEGLツアーズ、袁社長のおかげである。定期便がないのに非常に多くの方々に訪れていただいている。

##### ◎袁董事総経理

- ・ 定休日を出来れば作らないようにしていただきたい。年末年始は全て休業となってしまう。東京ディズニーランドは定休日がない。定休日があると、ツアーのコースが組めなくなる。改善をお願いしたい。香港・マカオでは、ディズニーランド・カジノは定休日がない。

##### ◎米光議員

- ・ 小松の春祭りでお旅まつりという素晴らしい行事がある。白山市にはおかえり祭りもある。これらのお祭りをセットにしてツアーを組んでいただきたい。資料は観光協会から送付させるので、是非ご検討いただきたい。どちらも5月の中頃に開催されることとなっている。

##### ◎袁董事総経理

- ・日本のお祭りツアーはお客様も大変関心をもっている。東北の三大祭りの時期も4泊5日のツアーで参加したいという要望がある。伝統的な文化は、テーマパークよりも関心もたれている。

◎福村団長

- ・産業観光も注目されている。小松空港近辺には、世界を代表する企業であるコマツ、あるいはジェイバスというバスを製造する会社、小松精練という繊維関係の会社がある。産業観光というものも組み入れるのであれば、材料に事欠かない。

◎新谷議員

- ・午前中にキャセイパシフィック航空を訪問した。我々の目的は小松空港の活用であり、飛行機が来なかったら意味がない。福岡経由で小松空港へ寄って、小松と福岡で客を乗せて、マカオや香港に来るなど、二つの空港を組み合わせる就航の方法もあるのではないかと。袁社長には是非、石川にいらしていただきたい。観光資源を訴えても、直接見ていただくことが大切である。EGLツアーズさんで、このような航空路線の開設にご支援いただけないものか、働きかけできるものなのか。

◎袁董事総経理

- ・香港では、中部空港に入るコースはかなり売れている。立山黒部アルペンルートを周遊したりなど面白いコースがいっぱい組める。キャセイパシフィック航空では、香港一名古屋は1日で3便ある。一つは台北経由で二つは直行便で午前・午後の便が就航している。キャセイパシフィック航空は中部で成功していることで、更に小松まで路線を開設するかは謎である。別の香港の航空会社を誘った方が、チャンスがあるかもしれない。

◎新谷議員

- ・つまり、格安航空会社とか対象を広げた方がいいということか。

◎袁董事総経理

- ・そのとおりである。来年にはLCCが関西や東京から香港へ飛ぶことになり、競争が激しくなる。特別条件を織り込んで色々な航空会社を誘ってみてはいかがか。

◎新谷議員

- ・袁社長から航空会社に直接働きかけていただくことは可能か。

◎袁董事総経理

- ・昨年、香港エクスプレスにチャーター便を働きかけた。議連の方からもこのような会社に働きかけてみてよいかもかもしれない。

◎新谷議員

- ・日本には支店があるのか

◎袁董事総経理

- ・日本には支店はない。直接香港から手配する。

◎灰田小松市議会議員

- ・香港の方は健康のためにウォーキングやジョキング、ゴルフなどをされる方は多くいらっしゃるのか。

◎袁董事総経理

- ・ゴルフ・ツアーは韓国が一番売れる。九州・北海道で何泊もしてゴルフをする。香港の人々は近いところで深圳に素晴らしいゴルフ場があるのでそちらへ行く。金額的にも安い。香港から海外にゴルフへ行く場合はタイのバンコクが多い。日本まで



ゴルフに行く方は少ない。日本については、1泊2食5万円でもOK、温泉だけでも支障ない。特に高級旅館の温泉付きの部屋はよく売れている。

◎稲垣加賀市議会議員

- ・先ほどJTB香港でお話を伺ったときに、香港の方が日本へのニーズとして、1番が食事、2番がショッピング、3番目が田園風景、4番が温泉とのことである。石川県はこれが全てそろっている。露天風呂に入りながら雪が見れる。雪が降っている風景を見るなら石川県である。露天風呂には水着を着て入るケースが多いのか。

◎袁董事総経理

- ・昔は一緒に大浴場に入るのはやはり抵抗感があった。今は問題ない。お部屋の中に温泉がある方が売れる。温泉の質よりもテーマ性がある温泉の方が売れる。例えば、女性の湯船に薔薇の花が浮いていると、香港の女性に対し大きなアピール力がある。

◎北村副団長

- ・袁社長には、元気をいただき感謝を申し上げる。日本へ観光される香港の方は金額にこだわらないと印象を受けているが、香港の富裕層というか、どんな層が来られるか。

◎袁董事総経理

- ・日本への旅行者は圧倒的に女性が多い。女性が7割程度である。したがって、旅館のお部屋に女性の喜ばれるものを作った方がよい。香港の富裕層は、弁護士とか医師、公認会計士といった、資格保有者が多い。

◎北村副団長

- ・石川県で獲れる加能ガニは北海道のタラバガニの5倍くらいの値段がするが、美味しさはどこにも負けない。南加賀には豊かな観光資源が多くあるので、お待ちしております。

◎袁董事総経理

- ・カニといえばタラバガニとなっている。牛肉といえば神戸牛。もっとPRすべきである。

◎青山能美市議会議員

- ・能美市に、いしかわ動物園という施設があるが、子供連れの旅行事情はどうなっているのか。伝統産業の九谷焼があり、絵付体験ができる。温泉は小さいが、田んぼの中にあり、部屋の中にもお風呂がある。

◎袁董事総経理

- ・今からであれば12月22日から30日に家族連れのツアーが混むが、この場合、子供の行きたいところ、例えば東京ディズニーランド、大阪のUSJあたりが優先される。絵付体験だと、出来てその日中に持って帰ることができるのが条件となる。

◎片山小松市議会議員

- ・マカオ航空によりチャーター便で来たが、マカオ航空は所有している航空機は少ない。香港の方がマカオまで行って、利用することがあるのか。

◎袁董事総経理

- ・香港の人々はマカオに行って飛行機に乗ることはない。安くても、面倒である。中国の上海航空、小松や富山空港から香港-上海経由で飛んでくる場合、航空運賃は平均より半分以下である。しかし乗る人は少ない。何故なら上海空港で4時間待た

なければいけない。また、香港からマカオまで船で1時間かかる。マカオではタクシーを拾えない。空港までスーツケースなどを運ぶのは煩雑である。今回のチャーター便についてはマカオの人が主である。



(終了後、夕食会 18:30~20:30)

福村団長からの要請により、袁社長から、12月に石川県に訪問する旨の発言あり



以上

平成23年10月11日(火)

1 マカオ航空本社

(時間) 11:00~12:00

(相手方) ヤン・ジアン・ファ 営業担当副社長

チャン・イム・ラン・メイビスジェネラルマネージャー

(他、EGLマカオ支店含むマカオ内旅行代理店6社同席)

EGLマカオ支店 セイビナ・イオング ジェネラルマネージャー

ニューシントラ・ツアーズ ステファニー・トゥ アシスタントブランチ  
マネージャー

マカオエクスプレス・トラベル アンキ・チウ ジェネラルマネージャー

〃 サラ・レイ ホテルパッケージマネージャー

モーニングスター・トラベルマカオ支店 ビッキー・コウ シニア

マネージャー

ウインオン・トラベルマカオ支店 ジョアンナ・タング シニア

マネージャー

ホンタイ・トラベルマカオ支店 マイク・ヒム シニアマーケティング

マネージャー

(内容)

◎福村団長挨拶

- ・マカオ航空のヤン副社長、メイビスジェネラルマネージャー、旅行会社代理店の多くの方々にお集まりいただき、感謝する。日本列島日本海側の真ん中にある石川県というところから、9日にマカオ航空のチャーター便でここに寄せていただいた。
- ・私どもの小松空港は200万人以上の乗り降りしており、東京はもちろん日本全国を網羅している。海外にも、定期便としては、上海・ソウル・台北の路線がある。また、カーゴルックス航空という貨物便がルクセンブルクから香港、北米路線に就航している。香港・マカオへは3年連続でチャーター便により訪問しているが、その理由として、皆様と友好関係を築き、チャーター便を数多く飛ばして、ゆくゆくは小松空港の4番目の定期航路を作りたいためである。
- ・定期便がないにもかかわらず、最近では、香港・マカオから石川県に訪れていただくお客さんも増えており、10年前は1500人しかいなかったのが、今では1万4,000人が訪れている。石川県からは、おそらくその倍ほど毎年香港・マカオへ観光している。
- ・香港・マカオへこれで3年続けてきておりますが、すばらしく発展しており、カジノでは世界一、観光という面でも随分力を入れていることを目の当たりにしている。我々の石川県も日本を代表する観光県であり、金沢は京都と並ぶ日本的な情緒があり、兼六園という日本の三大公園、白山という日本の三大名山のひとつもあり、雪の景色がすばらしいところである。日本を代表する温泉地もいくつもあり、魚など美味しい食べ物がたくさんある。観光についての詳細は後ほどご紹介させていただきます。
- ・マカオ航空のチャーター便で寄せていただいたご縁を大切にして、今後ともチャー

ター便を飛ばしていただくようお願いする。

◎ヤン副社長

- ・ようこそマカオにいらっしゃった。今日はマカオの主要な旅行会社も同席している。小松空港へのチャーター便は以前も何回もしたが、今年は初めてで、100人以上のマカオの住民の皆様を小松空港へ送客した。
- ・日本は人気のある旅行地域であり、マカオ航空にとっては、日本への便の発展が一番早いかと考えている。以前は関西しかなかったのが、東京（成田）にも順調に就航している。実は、日本政府とマカオ政府との航空協議により、現在オープンスカイとなっており、成田に飛ばすことも可能となり、週2便となり今後デイリーとなる予定である。北海道から九州までチャーター便を飛ばそうと考えている。日本市場はとても魅力的で、この3年間で一番旅客数が増えている。
- ・皆様が訪問したことで、小松とマカオの関係が一層発展するのではないかと考えている。これから皆様と理解を深めた上で、チャーター便が増えていくことを期待している。
- ・マカオは小さなところだが、とても魅力的な場所である。一流のホテル・カジノがあり、食事については中国と西洋の文化が両方味わえる。ここから中国へ行くのも便利で、現在、マカオから中国へのフライトは11か所である。是非この機会に相互で理解を深めて、こちらの旅行会社の皆様もこれから日本へのツアーを作っていくと考えている。

(双方向チャーター便が2月に実施予定であるとのことから、別添パワーポイント資料に基づき、「冬の北陸モデルコース」の説明を行う)

【懇談】

◎吉村小松市議会議員

- ・昨日、一昨日と香港の方で色々とお話させていただき、その中で香港の方々のニーズが、雪、食、そしてショッピングとのことであった。マカオのお客様も香港と同じニーズなのか教えていただきたい。

◎ヤン副社長

- ・ニーズは同じである。

◎吉村小松市議会議員

- ・石川県では、雪も見ることができ、温泉もあり、美味しいものも食べられる。PRをしていただければと考えている。

◎宮川小松市議会議員

- ・カジノを見学させていただいた。ラスベガスを抜き、世界一の売り上げがあるとのことであり、大変素晴らしい施設である。

◎ヤン副社長

- ・これは、マカオと香港との一番の違いである。マカオにはカジノがあるが香港にない。

◎宮川小松市議会議員

- ・マカオはカジノとショッピングが一番の魅力である。石川県では四季があり、季節ごとに豊かな食があり、マカオにとっては、これらが魅力だと考えるので、石川県

にも来ていただくようお願いする。

◎ヤン副社長

- ・日本とマカオとはお互いにあるものを補完できる。マカオからは日本へ行って、雪の景色を見て、日本の方々はマカオでカジノをやることができ、ゴルフもすることができる。

◎稲垣加賀市議会議員

- ・加賀温泉の出身である。毎日温泉に入っているせいか、肌がつるつるである。旅行へ行かれる方の割合については、女性が多いと聞いており、温泉・宿泊する旅館に期待しているものがあれば教えてほしい。

◎チャンジェネラルマネージャー

- ・マカオの方々にとって、日本へ行く理由は温泉があるということが一番となる。石川県は海沿いと聞いたので海の幸がとても美味であると考え。季節も見ることができれば、満足して帰れる。石川県の観光資源が豊富であると感じたので、これからもPRをしていき、チャーター便を増やすように頑張っていきたい。

◎青山能美市議会議員

- ・小松空港から10分程度の能美市から訪問した。九谷焼の陶芸村があり絵付け体験ができる。温泉については、辰口温泉があり、露天風呂が各部屋にあり、田んぼの中の温泉に入ることができる。親子で楽しめるいしかわ動物園があるので、是非楽しんでいただきたい。お待ちしております。

◎マカオエクスプレス・トラベル アンキ・チウ ジェネラルマネージャー

- ・ツアーではなくて、個人旅行という形で、石川の交通の便はどうか。

◎福村団長

- ・日本列島の真ん中にあり、交通の便利な場所にある。東京にも飛行機で1時間ほどで行くことができる。

◎マカオエクスプレス・トラベル アンキ・チウ ジェネラルマネージャー

- ・最近流行っているのは、自分でレンタカーを運転して回るツアーである。北海道、沖縄ではその旅行商品がある。石川県ではどうなのか。

◎福村団長

- ・レンタカーで旅行者の方々は随分回っている。EGLもそのようなツアーを組んでいる。

◎北村副団長

- ・このような懇談の場を持っていただいたことに感謝している。40年前にマカオを訪れたが、その時の印象ではカジノというイメージが強かった。しかし、現在はすばらしく発展しており、世界遺産としても登録されており、ショッピングにしても魅力のある観光地である。旅行会社の皆さんもいらっしゃっているので、今ほど石川県の良さを紹介させていただいた。マカオで味わえない自然、海の幸がある。是非とも2月に予定しているチャーター便で大いに来ていただきたい。双方向チャーターということで、我々も石川県の方でもマカオを精いっぱいアピールして、マカオへ観光客を送り込むように努力していきたいと考えている。

◎ヤン副社長

- ・これからも頑張っていきたい。

◎福村団長

- ・皆様に来ていただきたい。是非お待ちしております。

◎片山小松市議会議員

- ・マカオは文明の交流地で素晴らしいところであり、石川県でもPRしていきたい。それと同時に小松空港は地勢的には日本の中心に位置する。今後とも小松空港という利便性の高い空港を利用していきたい。

◎堀岡参事

- ・現在、成田空港に週2便、関西空港に週4便就航しているが、10月末からダイヤの変更があるかと思うが、増便の予定はあるのか。

◎ヤン副社長

- ・来年の4月に成田空港にデイリーで飛ばす予定である。関西は4便のままである。



以上

## 2 マカオ世界遺産等視察

(時 間) 14:00～16:00

(内容) マカオの世界遺産「歴史建築群」のうちのセントポール天主堂やセナド広場及び、コンベンション施設、ショッピングモールなどを有するヴェネチアン・マカオ・リゾートホテルを視察。



以上

## 石川県議会派遣 香港・マカオ訪問団報告

石川県議会議員 北村 繁盛

平成23年10月9日から12日までの4日間、石川県議会派遣香港・マカオ訪問団の副団長として、小松空港国際化推進石川県議会議員連盟の方々とともに、香港・マカオを訪問する機会を得ました。

今回の訪問目的は、現地の航空会社や旅行会社幹部等と会談することにより、小松・香港間のチャーター便、更には、定期便就航への可能性を探り、小松空港の更なる国際化を促進するものです。

### キャセイパシフィック航空

福村団長をはじめ、団員の方々が、香港からのお客さんが10年前の約10倍の1万4千人に増加していること、兼六園や白山、温泉更には九谷焼をはじめとする伝統工芸品等々本県観光地等の積極的な説明を行い、定期便化に向けPRした。

このことに対し、会社側からは、香港のお客さんが石川県に入るルートに関心を示し、今後も機会があればチャーター便を運航したい、また、石川県は香港の人たちが興味を持つ美味しいものなどがある素晴らしいところなのでPRしたいと答えたのです。

かつては子会社のドラゴン航空が、小松空港へのチャーター便を運航していたこともあり、ここ3年連続の訪問により築かれた人脈、出会いを大切に、双方向チャーター便を着実に進め、将来の定期便化に向け取り組む必要性を改めて認識したところである。

### EGLツアーズ

袁社長をはじめ多くの方から熱烈歓迎を受けた。

福村団長から、まず長年日本の観光行政に貢献したことから観光庁長官賞受賞と創立25周年に対する祝意と東日本大震災への支援に対する謝意を告げ、香港との定期便開設にあたって、袁社長の協力をお願いした。

袁社長からは、香港で問題となっているのは、東日本大震災はなくて、為替であり、日本に行っても買い物が楽しくなく、台湾や韓国に行く傾向が見られるとのこと等の説明を受け、懇談に入った。

訪問団側から、加能ガニや能登牛などの石川の食材の評価等を聞くと、香港ではカニと言えばタラバガニ、牛肉と言えば神戸牛などであり、石川の食材はもっとPRすべきである。また、香港の方で観光に出られる層などを聞くと、基本的には「し」の付く弁護士、医師などで、日本へは女性が7割程度を占めている。そのため、女性に喜ばれるもの、例えば、部屋に温泉が付いているとか女性用湯船にバラの花が浮かすなどしてはどうか、など非常に誠実に答えていただいた。

夕食会では、福村団長からの再度の要請により、袁社長の来日日程に、本県を加え12月に来県することとなった。これも偏に、これまでの度重なる訪問が功を奏したものと思う。当然これからも我々も努力しなければならないが、引き続き、本県への送客、また、チャーター便の運航を成功に導くためにも袁社長のお力添えに期待したい。



## マカオ航空

マカオ航空のヤン副社長をはじめ、EGLツアーズマカオ支店を含む旅行代理店6社のマネージャーが同席の下意見交換を行った。

福村団長から、友好関係を構築し、チャーター便を数多く運航し、ゆくゆくは小松空港の4番目の定期航路を作るため、3年連続で香港・マカオを訪問していること、今後も今縁を大切に引き続きチャーター便を飛ばすようお願いした。

ヤン副社長からは、日本は人気のある旅行地であり、マカオ航空も成田に週2便運航しているが、今後デイリーとなる予定であること、小松とマカオの関係が一層発展し、チャーター便の運航が増えることを期待するなどの発言があった。

マカオの皆さんが日本に求める魅力・期待を聞くと、まず、温泉だが、石川県は海の幸が美味しそうであり、季節を見ることもでき、マカオの人は満足すると思うので、PRしてチャーター便を増やしたいとのことでした。

## その他

この他、香港市内では、コンベンション施設「九龍湾国際展貿中心」や「石川食文化フェア in 香港」を、マカオ市内では、ショッピングモールなどを有する「ヴェネチアン・マカオ・リゾートホテル」や世界遺産「歴史建築群」を視察した。

## まとめ

新規定期路線の開拓には、まずは、双方向チャーター便を積み重ねることが重要である。その後の定期便に結びつけるためにも、今後も幾度となく訪問し、一日も早い小松・香港便の新規定期路線の開拓に向けたステップとしたい。そのためにも、引き続き関係者が一丸となって活動すべきである。

また、この度の香港便の誘致とともに、その次には、タイ・バンコク便への誘致も見据えて取り組んでいきたいと考えている。

小松空港の国際化に向け、引き続き誘致活動に取り組むことを改めて決意するものである。

## 石川県議会派遣 香港・マカオ訪問団報告

石川県議会議員 米光 正次

香港・マカオ訪問団（小松空港国際化推進石川県議会議員連盟及び石川県議会派遣）の団員として、総勢24名の皆様方と3泊4日の日程で行って来ました。

10月9日、出発当日、14:00小松空港集合です。メンバーを見ますと、県議会議員をはじめ、小松市議会議員、加賀市議会議員、能美市議会議員、そして小松商工会議所副会頭、5名の県担当職員、それに同行記者等のメンバーで組織を構成し、結団式を経て、15:45に小松空港を出発し、19:05にマカオ国際空港へ到着しました。

私にとっては、マカオは初めての旅であります。着いた途端、最初の印象は、ネオンの明るさと大きな高層ビルが建ち並んでいるのにびっくりしました。そして、そのほとんどがカジノをやっているビルであるとバスガイドから説明がありました。

約1時間の市内観光をバス車内から見学をし、ホテルで夕食をとり、23:00に高速船で香港への夜の移動です。マカオ・香港間はパスポート、税関チェックを受けなければいけないのです。まさしく異国の旅と同じ条件にびっくりしました。

そして、船も20トンくらいの小さな船で、当日、風も5~6m、いわば少し強い風が吹いていたので、海上の波もそこそこ有り、時に船の揺れも非常に強く感じたところもありました。

そのうち、約1時間乗船していたら、香港島の明かりが見え、到着のアナウンスが聞こえて来ました。時計を見たら深夜の0時を回っていました。それから、ホテルに到着したのがもう午前1時頃でありました。本当に疲れた長い1日であったと思ったのです。

10月10日、今回の日程の二日目の朝を迎えたのです。

朝からすばらしい天候であります。早速朝食をとり、最初の訪問先であるキャセイパシフィック航空へ訪れました。相手方（航空会社）側からはマーク・サッチ（営業・収益担当マネージャー）、レスリー・ルウ（運航機材管理マネージャー）と我々団員と意見交換を始め、主に今後の小松・香港にこれまで以上にチャーター便の就航を増やしていただき、今後は、定期便化を目指していただきたいとの要望を申し入れたのであります。

相手方航空会社からは、小松空港といってもまだまだ香港においては、日本海側は知られていない、これから香港において、PRをまずしていきたい、また、これからも機会があれば引き続きチャーター便を運航したいとの返事でありました。

我々を含め、石川県当局や航空関係等々一丸となって小松空港のPRを唱えていかなければと思ったのであります。

次に、2番目の訪問先E. G. Lツアーズへ訪れました。

袁文英 董事総経理他数人の役員の皆さんのお出迎えを受けました。私にとって、この訪問地は、確か2年前にも訪れた記憶があります。ここでの意見交換は、県当局から観光地等の紹介や、四つの部門にそれぞれ見学コース等に分けた内容等の説明をし、また、香港から兼六園に来られた人数は、10年前の約10倍、1万4千人に増え、なかでも2月には兼六園も雪景色となり、ライトアップもされた雪吊りの風景はとても美しく、特に四季を通じて見所があるため、今後とも、今後の小松空港へのチャーター便に多くの送客をお願いしたところでした。

相手方（旅行社）からは、香港の方々は、観光資源、美味しい物を求めている、また、定休日があるとツアーを組めないののでできるだけ無くして欲しいとのことでありました。

夕方からは、E. G. Lの役員メンバーと我々訪問団との夕食会並びに懇談会があり、今日一日の日程が終わりました。

翌日、マカオまで高速船で渡り、第3番目、今回の訪問先最後のマカオ航空へ。

ここでは、航空会社から役員数名とチャーター側旅行会社の代表7～8人が出席され、その内での意見交換会が始められました。こちら側からは、御社のご協力により、マカオ・小松との双方向でのチャーター便の運航が実現の運びとなった御礼と今後も継続的にチャーター便を運航していただくよう要望させていただいたところでもあります。

また、相手方からは、引き続きチャーター便の運航をこれまで以上に就航できるよう努力するとのことでありました。

以上で我々訪問団の日程は、全部終了し、午後からは、マカオ世界遺産等を視察し、18：30から夕食をし、3日目の日程を終えることができました。

翌日、10月12日（4日目）、朝8：15にホテルを出発し、10：35マカオ空港発のチャーター便で帰国の途につき、15：30小松空港に誰一人リタイアすることなく、全員無事到着しました。

3泊4日の今回の香港・マカオ訪問団の全日程は、石川県、小松空港にとって、大きな成果があったと確信し、私の報告とさせていただきます。

## 石川県議会派遣 香港・マカオ訪問団報告

石川県議会議員 吉田 修

平成23年10月9日(日)

香港への出発に際して福村団長から結団式での挨拶を受ける。機内は満席の状態であり、マカオ空港に到着後、高速フェリーにて香港へ移動。ホテルへは深夜到着。

平成23年10月10日(月)

午前中は、2班に分かれて航空会社と香港市内の旅行会社を訪問。私は、福村団長とともにキャセイパシフィック航空を訪問する。

〈11時30分～12時00分 於：キャセイパシフィック航空〉

福村団長からは、

- ①これまで御社を3回訪問していること
- ②小松空港は、日本海側では最大の空港であり、日本の各地に小松空港から飛行機が運航していること
- ③国際貨物便も運航しており、今年の10月からは北米便も運航することとなり、全国で7番目の貨物取扱量である旨、小松空港をアピールした。

更に、同社に新規路線の開設を促すため台北便の例を挙げて、定期便が就航したときには、上海便もソウル便も台北便も利用者があるのか大変心配されたが、運航してみると非常に多くの方が利用しており、台北便については、この10月から高い搭乗率であることから、週2便が週4便に増便された。北陸エリアの人口は350万人であるが、多くのお客さんが乗ってくれる地域である旨説明し、重ねて小松空港をアピールした。

加えて、香港から石川への観光客が10年前と比べると約10倍に増加しており、これらの観光客は関西空港インであり、小松空港に香港からの定期便が就航すれば倍増することも伝えた。

サッチマネージャーからは、過去に小松空港へは子会社であるドラゴン航空によりチャーター便を運航しており、これからも機会があればチャーター便を運航したい旨、発言有り。

〈14時30分～15時30分 於：SOGO香港 銅羅湾店〉

小松ビジプロにより香港市内のデパートで開催されている物産展を視察。出展者は、5社と少ないものの食材を外から調達している香港でのアンテナショップは、出展者の声を聞くと、意義あるもので売れ筋商品とそうでないものを肌で感じる事ができたとのことである。

〈16時00分～17時00分 於：EGLツアーズ〉

福村団長からは、

- ①日本への香港からの送客実績や長年の観光振興に尽力を尽くされ観光庁長官賞を授与されたこと
  - ②EGLツアーズが創立25周年であること
  - ③3月11日の東日本大震災に際して、多額のご寄付をされたこと
- に対して、御礼を伝えた。

昨年に引き続いての訪問であり、昨年約束したように今年度は、今回の10月と来年の

2月に1回、複数便でのチャーター便を運航する。香港からの定期便を開設するにあたっては、袁社長の力による旨伝え、昨年も約束したが、是非とも石川に来られるよう再度、要請を行った。

これに対して、袁社長からは、円高のため日本への旅行は厳しい状況だが、香港人の旅行先としては、日本志向が高いとのこと。この後、意見交換会が行われその中で、

(香港市内のデパートで開催されている物産展にからんで)

①日本の商品は高いから売れないというわけではなく、高いからこそ売れる場合がある。

香港には中国の金持ちも入っており、日本の食品は喜んで買っていく。

②生肉は検疫に引っかかるが、魚や果物はOK。

また、袁社長からの要望として、施設等で定休日をつくらないよう取り組んで欲しいとのこと。

当方からは、石川には見るべき多くのもの(お旅まつり、お帰りまつり、産業観光など)があり、是非とも商品化を進めていただきたい旨、要望した。

平成23年10月11日(火)

(11時00分～12時00分 於：マカオ航空)

福村団長からは、

①石川県は、日本列島の真ん中に位置し、年間利用者数が、200万人を超える小松空港を有しており、北陸エリアの人口は約350万人であること

②小松空港は、日本海側の拠点空港として既存路線のソウル、上海、台北に続き、4番目の路線として香港路線を目指していること

③香港から石川への観光客が10年前と比べると約10倍に増加しており、これらの観光客は関西空港インであり、小松空港に香港から定期便が就航すれば倍増することなどをアピールした。

マカオ航空のヤン社長からは、日本は人気のある旅行地域であり、以前は、関西しかなかったが、東京(羽田)にも順調に就航している。また、日本政府とマカオ政府との航空協議により、現在、オープンスカイとなっている。成田については、週2便がデイリー化となる予定であり、今後、皆さんとの理解を深めたいうえでチャーター便が増えることを期待したいとのこと。

マカオは魅力的な場所であり中国へも移動しやすい。相互で理解を深めるためにも、マカオの旅行会社には日本へのツアー商品をつくるよう考えている。

平成23年10月12日(水)

マカオ国際空港から小松空港へ向けて帰国の路につく。 小松空港着：15時30分

～感想～

今回の双方向でのチャーター便による訪問は、マカオ航空とEGLツアーズの協力に加え、地元の農協観光との連携により実現したものであり、このような枠組みで、チャーター便の継続を図ることが重要であると感じた。

また、今後の新規路線開設については、関係者が連携して、粘り強く取り組んでいくこと。そして、北陸の石川をアピールして知名度を高めることが更に求められるのではないかと、感じたところである。

## 石川県議会派遣 香港・マカオ訪問団報告

石川県議会議員 新谷 博範

県議会からの視察の第一目的は、新幹線開業に向けた小松空港活性化と新たなる海外（香港）定期便誘致であった。メンバーは、小松、能美、加賀の市会議員を含んだものであり、県議会との混合視察は新たなる視点と懇話を生み出す形の視察団であった事は今後の海外視察のあり方に一石を投じるものであると考える。

視察自体は、非常に過密スケジュールを押し付けたものであり、第1日目のホテルチェックインは、食事後香港への移動を含めて、翌日になる強行日程である。いくら海外視察・公費使用といえども、移動・食事時間を含めた総視察時間は12時間以内に限定することは必要である。

翌日香港視察となるが、実際は航空会社と旅行会社への陳情であり、何が何でも石川の誠意を見せて香港便の開設に前向きな環境整備と友好関係構築に時間を費やした。キャセイパシフィック航空は、福岡便を出しているのので、これを延伸する串刺し運航が、一番可能性が高いと考えインバウンドは香港から福岡、福岡から小松、インバウンドはこの逆行と現実的な論点である。

国内便とのコードシェアの問題、国内航空会社との提携問題はあるが、小松には福岡便の定期便があるので物理的にはクリアできる問題であると考え。

しかしながら、相手方は現状に満足している様子であり、インセンティブにかなりのものを打ち出さないと動かないあしらい様であったというのが私の感想である。具体的には、搭乗率保証を打ち出す事は必要である。次回には、具体的な支援・保証策を打ち出さなければ行く意味がない。

EGLツアーズ社長袁さんはとても活動的で石川県に対し造形と理解が深い方であり、12月に訪日し、石川県で講演していただく約束をした。この1点に於いて有意義であったと考える。食事は、旅行業者の方々と懇談を交えたディナーであった。ホテルは、港に近く外に出ると海を過ぎる船やコンテナ船が見えた。遠くに見える香港の高層ビル群は、香港経済の勢いと700万人が生活し働く大都会の光景そのものであった。同行の人と夜食を食べに出掛け、中国風の辛いラーメンを食べて眠りに就いた。第二日目はこれで終わり、見学はなし、部屋から夜景が見えないホテルで睡眠。以上。

第三日目は、マカオへ移動、これがさらに大変時間がかかりその船便後、今度は、マカオにおける旅行会社への陳情と世界遺産見学。世界遺産は半径1キロメートルの中にすべてはいるのではないかと感じるくらい、コンパクトにまとまって点在し、観光するには時間がかからず、効率的に観光できた。世界遺産のほとんどは、旧植民地時代の建物であり、ポルトガルのキリスト教カトリック芸術を強く反映した建物と教会がメインである。日本

との関係で言えば、フランシスコザビエルやイエズス会の修道士たちがここを拠点に東洋の小さな島国、日本に布教に来たことが想像でき勇気のある神に仕える人々に思いをはせた。

明らかなのは、マカオと香港の経済格差は大きくインバウンドを見込める観光客は香港のみと考えた方がよいというのが結論である。世界遺産見学は、2時間ほどで見て回れる距離であり、あえてマカオに泊まるのはカジノに興味のある観光客と考えてもよいのではないだろうか。ファミリー向けには、マカオは適していないと考える。物価はマカオの方が比較的安いと感じた。ただ、カジノによるバブル的なホテルの建設ラッシュを視察し、特に、ザベネティアンホテル豪華絢爛なホテルであり、カジノの客やラスベガスを超える観光客、ほとんどが中国本土からの観光客であり、中国がいかに経済発展著しいか、カジノに使う、カジノで博打にかける金額を見て、考えた。如何に可処分所得が大きく、経済格差が拡大しているかを如実に表れる場所であった。一部の金持ちは、香港やマカオに観光に来て、多額のホテル代やギャンブルにお金を浪費できる。その消費水準は軽く日本人の平均を超え、日本の金持ちもここまで露骨な使い方をしないのではないかとさえ思えた。

我々は、その新開発地区ではなく、旧市街地の古いホテルに泊まり、最後の夜を迎えた。ディナーはもちろんマカオの旅行会社4社の方々とは懇談を交えた今後の観光のあり方についてであり、マカオ料理を食べながら夜を過ごした。

最後の夜と言うこともあり、個人の時間になり、旧市街地では一番シンボルとなっているリズボアホテルに寄り、少しだけカジノでギャンブルを通して体験、と言っても次の日が早いことからほんの数十分で切り上げ、ホテルに帰り、睡眠。最後の日は天候が悪く、雨に降られ、タクシー事情が悪いことを痛感した。狭いマカオの市街では、すぐに渋滞になること、タクシーの台数と需要がマッチングしていないで長い待ち行列ができた。今からの観光課題であろう。

翌日、起床、すぐに空港に向かいチャーター便で小松に出発。無事到着。

最後に、香港マカオ視察とはいえ、観光の時間確保は重要である。いくら視察団を組んでいるとはいえ、個人の時間を抹殺している過酷なスケジュールは見直してしかるべきである。視察目的には、視察員の教養並びに見識を深め、国際感覚を養うことも大事なことである。視察が単なる目的を達成するものであるならば、海外視察の個人的な目的を無視するものになることはいかかなものであろうか。海外視察のあり方と意義をもう一度問い直す視察目的であった。

## 石川県議会派遣 香港・マカオ訪問団報告

石川県議会議員 井出 敏朗

3年後の北陸新幹線金沢開業に伴い、羽田小松便の利用客減も想定される中、小松空港の一層の活性化策として、国際線の増便がある。

東日本大震災、円高等の影響から、海外から本国への誘客数が減少傾向にあるが、小松空港に於いては、旅客では台北便及びソウル便の増便、貨物ではカーゴルックス航空の北米便開設など堅調な実績を積み上げている。

そこで、新たな就航路線増を目的に、親日感が高く景気が好調な香港・マカオを訪問し、航空会社では、将来の定期便化に向け、チャーター便の継続実施を要請するほか、旅行会社では、現地の海外旅行の実状と展望を視察すると共に、本県の魅力を伝え、本県への誘客増に向けた協議と要請を行った。

香港を訪れ先ず感じたことは、市内の繁華街や交通ターミナルが、平日にも関わらず人で溢れ、その活気に圧倒された。訪問先で、その実態を尋ねたところ、中国からの買い物をも目的とした旅行者が多く、買い物のターゲットは「made in Japan」の薬や食材が人気で、投資目的で不動産を購入する中国人も多いとのこと。

香港人の生活スタイルは、高層マンションに住み、夫婦共働き、家事は東南アジア諸国出身の家政婦に任せ、食事は殆ど外食。趣味は、食事と海外旅行で、海外旅行の人気スポットは、韓国・タイ・台湾・日本であり、4泊5日のツアーが最も人気が高い。日本の魅力は、「食事」「温泉」「自然景観」「寺・神社などの歴史建造物」「ショッピング」「伝統芸能・文化」との回答。日本人気は高く、東日本大震災の影響は徐々に影を潜め、ツアー客数は回復傾向であり、北海道・沖縄が人気スポット。放射能と津波に対する警戒感から、東北と首都圏へのツアーの回復は遅れている。その一方で、円高のためツアー代金が跳ね上がり、他のアジア諸国へ代替えるケースが多い。

日本へ旅行してみたいと思った香港の方々が、その訪問先として石川県を選択してもらえるのは、どんなケースであるのか？また、何を魅力に選択してもらえたのか？

香港の方々が語る日本の魅力「食事」「温泉」「自然景観」「伝統芸能・文化」は、本県も、その魅力を持った代表的な県ではある。しかし、日本の多くの県も、前述の魅力を同様に所持している。また、「寺・神社などの歴史建造物」「ショッピング」となると、本県は、京都や奈良、首都圏や名古屋、大阪と比べると見劣りする。また、本県への直行便が無いこともマイナス面である。

今回の視察を通して、石川県誘客の現実的な策のキーワードは、「物産展」と「おもてなしのサービス」であると考えられる。香港を訪れた際に視察した「石川食文化フェアイン香港」は盛況で、香港では日本の物産展の人気は高いとのこと。物産展で試食した日本の食事や食材が美味しければ、日本を訪れて食べてみたいとの需要に繋がるケースが多いと聞



く。香港で積極的に物産展を催し、本県への魅力を増幅させる。そして、本県に訪れた香港の方々へ、「食」「温泉」「自然環境」に複合的に接してもらえるように工夫し、且つ本県が誇るおもてなしのサービスを添えることで、満足を超えて感動をして頂き、もう一度石川県を訪れたいと思って頂けるリピーターを育む。加えて、本県を感動して頂いたお客様に、香港でロコミやPRを担ってもらえるような仕掛けを設けることも効果があると考ええる。

航空会社へは、先ずは、チャーター便を定期的に運航してもらえることを働きかけ、前述で実績を作って、定期便就航へ繋げることだと考える。

最後に、九谷焼や輪島塗などの伝統工芸品のマーケットを探したが、家で食事をするのが少ないためか食器への関心は薄く、自宅で装飾品を飾るスペースや習慣も薄いとのこと。香港市内のデパートで家庭用品売り場を覗いたが、九谷焼などの高級品は少なく、日本のスーパーのような日用品が多く陳列されていた。

現時点での需要は低いように感じたため、観光地の魅力発信と同様に、本県の伝統工芸品の魅力を、単に陳列するのではなく、食事を盛り付けたり、テーブルディスプレイした場面でPRする機会を増やし、また、本県に訪れた香港の方に、伝統工芸品が陳列された美術館への見学、伝統工芸品が使われた食事の機会を通して、需要の掘り起こしにも取り組むべきであると感じた。